

玉寿荘だより

『新年度を 迎えるの想い』

施設長 阿部博允

三月十一日の東日本大震災と巨大津波による壊滅的な大災害により、被災された地域の皆様と関係者の方々に對しまして、心からお見舞いを申し上げます。

玉寿荘の平成二十三年度は三月十一日の未曾有の大災害で被災された釜石市の施設「五葉寮」から四名の方々をお迎えし、また、震災後遺症で燃料や食料不足などの混乱した厳しい環境の中でのスタートとなりました。幸いにも当施設では建物その他設備に損害はなく、現在は通常の状態に復しております。釜石から玉寿荘へ避難された皆様も落ち着きを取り戻され、施設生活にもなれた様子が見られます。また諸行事にも参加され、入所者の方々と和やかに交流されております。



入所者と一緒に
農場開きにて
「はいチーズ！」

裏の畑から見た
玉寿荘



昨年度玉寿荘では、安全安心をテーマにして、防災関係の設備としてスプリンクラーをはじめバリアフリー関係、そして防災非常用のガス機器・乾電池・ホッカイロ・非常食などを備蓄しましたが、今回の震災では思わぬ効果があり、日ごろの防災対策の重要性を思い知らされた貴重な経験になりました。今年度は更に防災意識と諸対策の充実を図って参りたいと思っております。

新年度に入っの三ヶ月間は、ゆっくり季節感を味わう余裕のないまま経過した感じでしたが、これから夏・秋を迎えて玉寿荘は、花壇や農園で四季折々の花や農作物・山菜、そして果物など収穫の季節を迎えて旬の果実を味わう楽しみがあります。また、これからの施設行事もたくさんありますので、全員が和気あいあいと安心して楽しく過ごせるよう職員一同、頑張つて参ります。

こんなに採れたよ

「採ったど〜！！」



みずみずしい「いちご」

いちご畑にたくさんのごちそうが採れました。去年は少量しか収穫できませんでした。今年は大豊作！（なんと総量七十五キロ）おやつに食事にと出した皆さんでいただきます。とてもみずみずしく、旬のものを旬の時期に食べられる喜びも味わうことができました。

『今年もやります 農場開き』

今年も農場開きを行いました！

厨房のシステムが変わったことで、昨年よりも規模を縮小することになりましたが、玉寿荘の特徴はなんとと言っても「広大な敷地」と「広大な畑」です。レクリエーションの一環として、畑作業を行うことにしました。今年度は「すがわり」・「ほうれん草」・「小松菜」の種まきをしました。



みんなで協力！
「大きくな〜れっ！」



